

**JAS 委員会レポート**

(日本オーディオ協会 専門部会・ソフト普及委員会活動報告)

## 良質の音楽を良い音で再生する ライフスタイルの普及をめざして

一般社団法人 日本オーディオ協会  
渡邊 哲純

一般社団法人 日本オーディオ協会では、オーディオ文化の普及とオーディオ業界の活性化を目指した様々な活動を推進していますが、ここでは「良質の音楽を良質の再生環境で」を目標にして進めている活動を紹介させていただきます。

近年の再生音楽の環境を見てみますと、ソフトに関しては、CD は勿論のこと圧縮音源や高音質配信からアナログレコードまで多岐に渡った音楽コンテンツが提供されており、多くの方が場所や環境に応じて色々な機器を使用して音楽を楽しむ事が出来るようになってきました。通勤や通学途中、ジョギングや種々のスポーツをしながらなど、いつでもどこでも音楽に親しむことが出来る環境は、イヤホンやヘッドホンの使用シーンの増加を生み、新しい事業領域の拡大につながり、広い意味でオーディオ業界の活性化に貢献していることは皆様ご存知のとおりです。

しかしながらめざましい音楽コンテンツの高音質化への技術革新の進む中での再生環境を考えると、イヤホンやヘッドホンのみで音楽を楽しむだけでは、少々もったいないと考えるのは私だけでしょうか。

そこで屋外ではイヤホンやヘッドホンを使い音楽を楽しみ、家庭内においてはスピーカーを使って、ゆったりと空気振動を肌で感じながら良質の音楽を楽しんでいただき、より快適な音楽感動を体感していただくライフスタイルを再構築しよう。こうした思いから日本オーディオ協会では、オーディオ事業を主業とするハード機器メーカーとソフトメーカーとが一体となって「家庭においてスピーカーを使用して音楽を楽しむライフスタイル」の普及活動を昨年6月よりスタートさせました。

現在オーディオ機器メーカー11社で構成する専門部会は、部会長をアキュフェーズにお願いし、ワーキンググループとして

- (1) スピーカーによる試聴体験の場作り「音のサロン」活動（主査ラックスマン）
- (2) パソコン系での試聴環境の整備活動（主査クリプトン）
- (3) 技術発表や技術啓発の場作り活動（主査アキュフェーズ）、

の3つのテーマに主活動を絞り、各委員の積極的なご協力と活動を推進中です。

一方ソフト普及委員会は、ソフト会社 10 社（日本レコード協会を含む）で構成され、オーディオ機器と両輪をなす「良質なソフト」の提供などで專業部会活動を支援し、「良質な音楽を良質の再生環境」で聴いていただく活動を展開しています。

ここでは、そうした具体的活動の一端をご紹介します。

(1) のワーキンググループを中心とした活動として、本年も 10 月 21 日（金）から 23 日（日）まで東京の秋葉原にて日本オーディオ協会が主催し開催される「オーディオ&ホームシアター展」の中で、專業部会とソフト普及委員会が協力して運営する「音のサロン」の開催が計画され、現在メンバー会社委員の皆さんの精力的なご協力のもと準備がすすんでいます。

「音のサロン」と銘打った富士ソフトアキバプラザ 7 階プレゼンルームでは、

- 1) 真空管オーディオ協議会との初めての協賛イベント、  
「DSD ダイレクト録音を 真空管アンプで聴く」（講師 新 忠篤氏）
- 2) 高音質配信音楽を聴く
- 3) PC オーディオの色々試聴会（講師 角田 郁雄氏他）
- 4) アナログレコード・コンサート（講師 伊藤 八十八氏）
- 5) 音楽ジャンル別試聴会（1. ロック 2. 歌謡曲）
- 6) 各種高音質ディスクを聴く（講師 ソフト普及委員会メンバー会社）
- 7) スタジオ協会・ミキサー協会協賛イベント  
「一足早いプロ音楽録音賞ノミネート作品特別試聴会」
- 8) 楽しいクラシックディスク・コンサート（講師 東京大学・早稲田大学のクラシック音楽愛好会）
- 9) 「価格帯別コンポの魅力を探る」（講師 麻倉 怜士氏）

の 9 のプログラムを用意し、日本オーディオ協会の主催者イベントとして開催いたします。

高音質配信音楽からアナログレコードまで幅広い音楽コンテンツを使い、評論家の先生や各社の専門家を講師に迎え、再生機器としてはハードメーカー 11 社の主要オーディオ機器を取りそろえて、3 日間連続で開催する大イベントになります。

（詳細は協会の「オーディオ&ホームシアター展」ホームページを参照）

この「音のサロン」は通常なかなか聴いていただく機会の少ない、異なった主要メーカーやブランドの機器の組合せで、色々なジャンルの楽曲を聴いていただき、再生音楽の感動を体験していただくことにより、ご来場者の皆様のご家庭で「良質の音楽」をスピーカーを使用して楽しんでいただく再生環境を整えるきっかけ作りにつなげることをめざしています。

ちなみに当日使用される機器は Accuphase、B&W、CEC、Dali、DENON、ECLIPSE、FOSTEX KRIPTON、LUXMAN、marantz、ONKYO、SPENDOR、TRIODE、YAMAHA、等の著名なブランドの機器が予定されています。

会員の皆様には、従来以上に充実した本年の「オーディオ&ホームシアター展」にお越しいただき、「音のサロン」にもお立ち寄りいただければ、オーディオ三昧、音楽三昧の楽しい一日がお過ごしいただけるものと確信しております。

さらに展示会終了以降こうした「音のサロン」と銘打った試聴機会創出活動を、專業部会とソフト普及委員会で定期的に開催する方向で現在検討をすすめております。

年間計画が固まりましたら協会ホームページなどにご紹介してまいりますので、会員の皆様や友人をお誘いいただき、ご参加いただきますようお願いいたします。

(2) のワーキンググループでは、近年著しく関心が高まりつつあるパソコンなどを使用している試聴環境に関して、その呼称などでユーザーの皆様がいささか混乱がみであり、せっかく音楽の新しい楽しみ方としての普及が期待される中において、早期に用語の整理を図る必要があるとの認識から、以下のように再生環境表現を統一する方向で検討がすすんでいます。

- ① パソコンオーディオとは、パソコンを使用するオーディオ全般を指さすものとし、USBオーディオもこれに含まれる
- ② ネットワークオーディオとは、インターネットや家庭内 LAN などのネットワークを利用して音楽を楽しむオーディオ
- ③ USB オーディオとは、主としてパソコンを活用し、USB・DAC を使って高音質を求めるオーディオ

(USB メモリーをソースとして再生するオーディオは「USB メモリー対応プレーヤー」と呼び、USB オーディオとの切り分けを明確にする)

またその他の用語の解説も順次準備し、ホームページなどでご紹介していく予定です。

さらに(3)のワーキングでは、アカデミックな活動として以前開催されていた JAS カンファレンスのような研究発表や技術発表の場を作る活動の必要性が討議されており、この度の「オーディオ&ホームシアター展」においてその一部にこの考えを取り入れ試験的に実行し、今後さらに具体案を検討していくこととしています。

最後に今後の活動について簡単にふれておきます。

活動の軸はあくまでも「良質の音楽を、良質の再生環境で楽しむ」ライフスタイルづくりにあり、そのために最近なかなか一般の方が体験の機会が少なくなった、スピーカーによる音楽再生を体験できる場を個々の企業の枠を超えて展開し、試聴体験の場として「音のサロン」を定期的に開催していくと共に、オーディオ関連情報の整理や、発信に努めます。

このように日本オーディオ協会は、再生音楽を楽しむ事への社会的関心をたかめる広範かつ横断的な活動を、会員各社の自社製品のプロモーション活動と並行して推進することにより、オーディオや音楽ソフト全般の活性化に向けた相乗効果が発揮できるものと考えておりますので、会員各位の積極的なご協力をお願いいたします。

## [参考資料]

### 専門部会メンバー会社（五十音順）

アキュフェーズ株式会社、オンキヨーマーケティングングジャパン株式会社、  
株式会社クリプトン、CEC 株式会社、ティアック株式会社、  
株式会社ディーアンドエムホールディングス、株式会社トライオード、  
フォスター電機株式会社、富士通テン株式会社、  
ヤマハエレクトロニクスマーケティング株式会社、ラックスマン株式会社

### ソフト普及委員会メンバー会社（五十音順）

株式会社 EMI ミュージック・ジャパン、エイベックス・マーケティング株式会社、  
キングレコード株式会社、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント、  
株式会社テイチクエンタテインメント、日本コロムビア株式会社  
ビクターエンタテインメント株式会社、メモリーテック株式会社、  
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン、一般社団法人日本レコード協会

## 筆者プロフィール



昭和 46 年 日本ビクター株式会社入社  
国内民生機器営業、オーディオ事業部営業・広報・渉外等を担当  
この間、DVD オーディオプロモーション協議会全体会議議長、  
CEATEC/日本オーディオ協会の展示会実行委員他の任にあたる  
平成 21 年 日本ビクター株式会社退職  
現在 日本オーディオ協会 会長特命として協会活動をサポート